琉球新報　2013年(平成25年)12月30日　月曜日　22面　【社会】　掲載

児童プロの技学ぶ

南部出身3選手　糸満で野球教室

読んで広がるNIE

【糸満】沖縄本島南部地区出身のプロ野球選手による野球教室（南部地区青年団連絡協議会主催）が29日、糸満市の西崎球場で開かれた。同地区の小学6年生約400人が参加し、基本動作などを学んだ。糸満市出身の宮国椋丞投手（巨人）、八重瀬町出身の比屋根渉外野手（ヤクルト）、南風原町出身の新崎慎弥内野手（ソフトバンク）が講師を務めた。

宮国投手は投球の際、「しっかりと1本足で立つことで、狙ったコースにいい球が投げられる」と説明。比屋根外野手はバットを上から振ることなどを教えた。新崎内野手は「ノックを受けている他の人の姿を見るだけでも勉強になる」と語った。

パークタウン学童野球クラブの上原脩君（潮平小6年）は「バッティングでは顔を動かさず、しっかりとボールを見ることなど勉強になった」と話した。

糸満市出身の宮国椋丞投手から指導を受ける児童＝29日、糸満市の西崎球場